

講義科目名称： 地域・在宅看護論実習

授業コード： 2230301400

英文科目名称： Clinical Practice in Home Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分																					
通年	3学年	2単位	必修																					
担当教員																								
◎関睦美、高林知佳子、野口裕子、前川絵里子、久保野裕子、野村優希																								
添付ファイル																								
授業種類	<p>【開講】 通年 【授業時間】 60時間</p> <p>【担当教員】</p> <table border="0"> <tr> <td>【氏名】</td> <td>【研究室】</td> <td>【メールアドレス】</td> </tr> <tr> <td>◎関 睦美</td> <td>301</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高林 知佳子</td> <td>304</td> <td></td> </tr> <tr> <td>野口 裕子</td> <td>209</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前川 絵里子</td> <td>307</td> <td></td> </tr> <tr> <td>久保野 裕子</td> <td>共同研究室2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>野村 優希</td> <td>共同研究室2</td> <td></td> </tr> </table> <p>実務経験のある教員が担当します</p> <p>【本学の科目区分】 専門科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ○ ◎ ○ ○ ○</p>			【氏名】	【研究室】	【メールアドレス】	◎関 睦美	301		高林 知佳子	304		野口 裕子	209		前川 絵里子	307		久保野 裕子	共同研究室2		野村 優希	共同研究室2	
【氏名】	【研究室】	【メールアドレス】																						
◎関 睦美	301																							
高林 知佳子	304																							
野口 裕子	209																							
前川 絵里子	307																							
久保野 裕子	共同研究室2																							
野村 優希	共同研究室2																							
到達目標	<p>1) 在宅療養者とその家族を支援する、訪問看護ステーションの概要を理解する。 2) 在宅療養者とその家族の生活をとらえ、生活者であることを理解する。 3) 在宅療養者およびその家族の生活上・健康上の課題についてアセスメントし、課題解決を導く支援方法を考えることができる。 4) 訪問看護師の看護実践を正しく観察し、看護実践の意味付けができる。 5) 在宅療養者が利用する社会資源や法制度、多職種連携について理解することができる。</p>																							
授業概要	<p>在宅療養者と家族の健康状態や療養・介護生活の状況を把握して看護過程を展開し、在宅療養者とその家族のQOLを高めるための支援方法を学ぶ。また、訪問看護師に看護実践を考察し、地域における看護の役割を学ぶ。在宅療養と家族を支える地域ケアシステムを理解し、関係職種との役割と連携、社会資源の活用の実際を学ぶ。</p>																							
授業計画	<p>授業内容 授業形態：対面</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習場所 上越市内、妙高市内、柏崎市内、糸魚川市内の訪問看護ステーション 2. 実習時期 3年次 7月～12月 <p>学習内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 訪問看護ステーションの概要と活動状況の理解 2. 同行訪問 受け持ち事例の看護過程の展開、受け持ち事例以外の看護の意味付け 3. 多職種、多機関との協働場面の見学 4. カンファレンス 訪問看護計画や訪問看護の特徴、地域包括支援システムにおける訪問看護師の役割などについてディスカッション 																							
事前・事後学習	<p>事前学習：基礎看護学、成人看護学について、復習をしておく。 必携図書「在宅看護論における実習の手引き」を必読すること。 事後学習：講義内容を整理し、学習課題に関する基礎知識を確実に身につける。</p>																							
評価方法、評価基準	<p>実習要項内の自己評価表の内容で評価する。</p>																							
必携図書	<p>系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[1][2] 医学書院</p>																							
参考図書・資料等	<p>地域在宅看護論Ⅱ、Ⅲ、地域・在宅看護論演習で用いた講義資料</p>																							
受講、課題、資料配布等のルール	<p>必要時知らせる。</p>																							
教員からのメッセージ	<p>既習内容を結び付けて実習を進めて下さい。実習をする中で生じた疑問や意見についても積極的に発言してください。積極的な態度を期待します。</p>																							
オフィスアワー																								

